

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

□ 宮崎県第15週の発生動向

・重症熱性血小板減少症候群（SFTS）（全数把握対象）の報告が宮崎市保健所から1例あった。県内での報告は12例目となった。発症は3月下旬。70歳代男性、ダニの刺し口があり、海外渡航歴はなかった。

県内のSFTS年齢別報告数（例）

40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
1	1	3	3	4

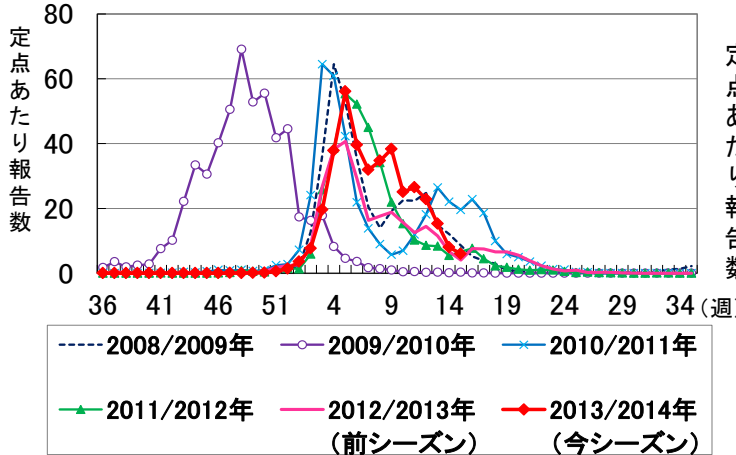
・定点医療機関からの報告総数は1,209人（定点あたり32.4）で、前週比112%と増加した。前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎と手足口病であった。減少した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

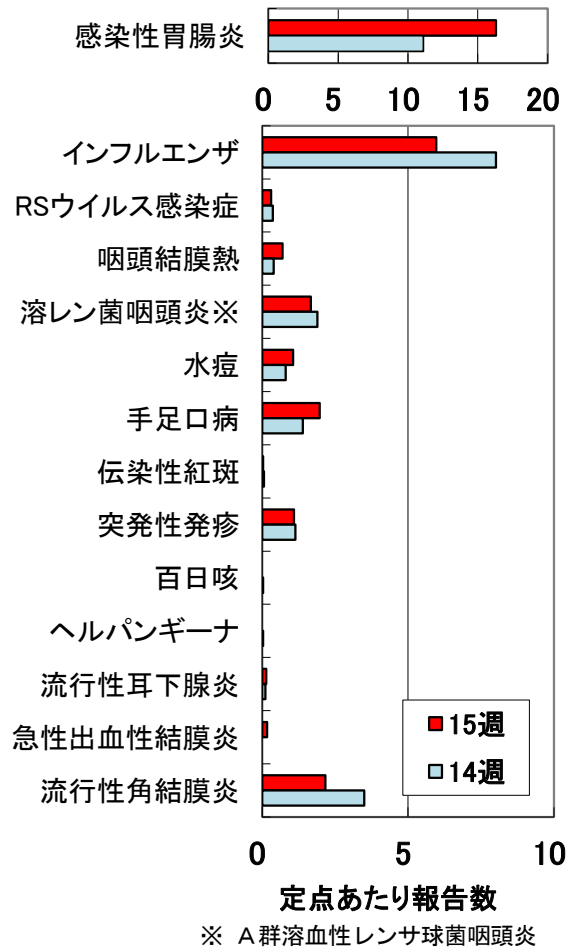
【インフルエンザ】

・報告数は352人（6.0）で前週比74%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*（8.6）の約7割である。小林（13.2）、日南（10.6）保健所からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の36%、6~9歳が28%、10~14歳が12%、15~19歳が3%、20歳代~50歳代が18%、60歳以上が3%を占めた。

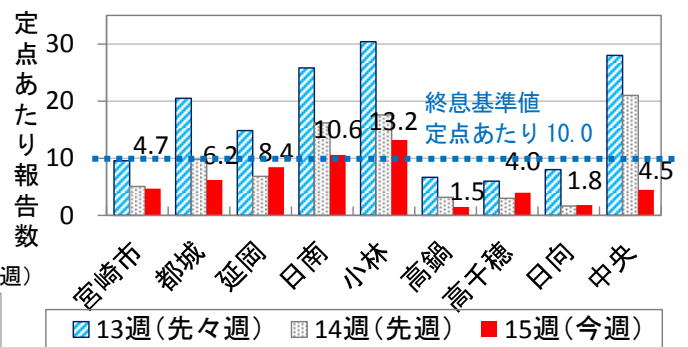
* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値
インフルエンザ発生状況（シーズン別・宮崎県）



《前週との比較》

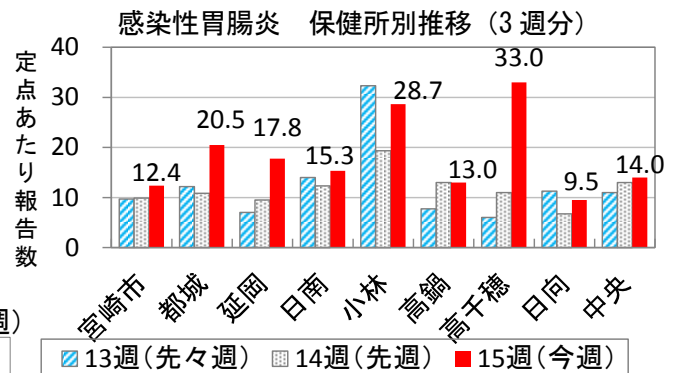
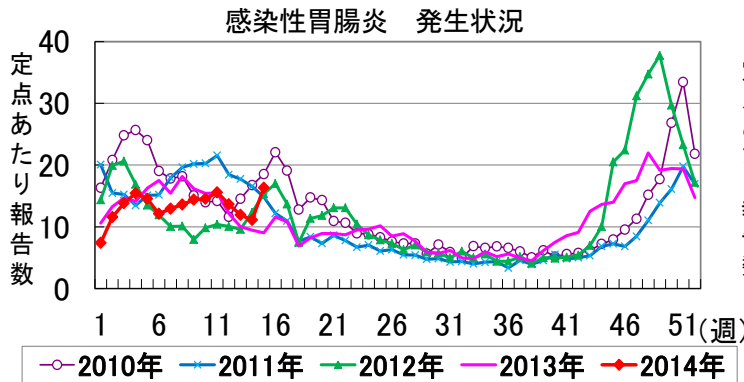


インフルエンザ 保健所別推移 (3週分)



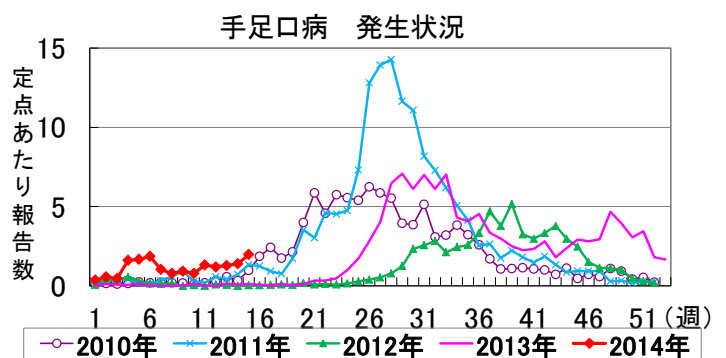
【感染性胃腸炎】

・報告数は587人(16.3)で前週比147%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(14.8)の約1.1倍である。高千穂(33.0)、小林(28.7)、都城(20.5)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から5歳が全体の約6割を占めた。



【手足口病】

・報告数は71人(2.0)で前週比142%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値*(0.49)の約4倍であった。宮崎市(4.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から3歳が全体の約7割を占めた。



★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：都城保健所管内から1人、高鍋保健所管轄内から5人報告された。患者は9ヶ月が1名で、1歳が2名、2歳が2名、20歳代が1名であった。いずれも群別不明。

□ 流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	感染性胃腸炎(20.5)
延岡	なし
日南	なし
小林	感染性胃腸炎(28.7)
高鍋	なし
高千穂	感染性胃腸炎(33.0)
日向	なし
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値 *

・感染性胃腸炎(20.0)

■ 全数把握対象疾患（15週までに新たに届出のあったもの）

- 1類感染症： 報告なし。
 2類感染症： 結核 4例。
 3類感染症： 腸管出血性大腸菌感染症 1例。
 4類感染症： 重症熱性血小板減少症候群 1例。
 5類感染症： ウイルス性肝炎 1例、梅毒 1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	50歳代	肺結核	咳、痰
			50歳代	無症状病原体保有者	—
		都城	80歳代	結核性胸膜炎	発熱
		延岡	80歳代	肺結核	咳、痰
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	2歳	患者	腹痛、水様性下痢、血便、嘔吐、発熱、溶血性尿毒症症候群(HUS) 原因菌:EHEC0157(VT1,2)
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	70歳代	患者	発熱、神経症状、腹痛、下痢、嘔吐、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、出血傾向、紫斑、消化管出血、刺し口
5類	ウイルス性肝炎	宮崎市	30歳代	B型	全身倦怠感、褐色尿、肝機能異常、黄疸
	梅毒	高鍋	10歳代	早期顕症梅毒(I期)	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹(無痛性)

■ 全国第14週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は16.0で、前週比69%と減少した。今週増加した主な疾患は手足口病であった。減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

インフルエンザの報告数は30,290人(6.1)で、前週比51%と減少した。青森県・岩手県(各12.3)、福井県(12.2)からの報告が多く、年齢別では、5歳以下が全体の32%、6～9歳が19%、10～14歳が10%、15～19歳が4%、20歳代～50歳代が28%、60歳以上が7%を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は15,990人(5.1)で、前週比89%と減少した。大分県(11.2)、宮崎県(11.1)、愛媛県(10.9)からの報告が多く、年齢別では1歳～4歳が全体の約半分を占めた。

□ 全数把握対象疾患（全国第14週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	412例				
3類感染症	細菌性赤痢	3例	腸管出血性大腸菌感染症	25例	パラチフス	1例
	E型肝炎	1例	A型肝炎	12例	チクングニア熱	1例
4類感染症	デング熱	4例	日本紅斑熱	1例	マラリア	1例
	レジオネラ症	11例				
5類感染症	アメーバ赤痢	14例	ウイルス性肝炎	2例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例	後天性免疫不全症候群	16例	ジアルジア症	1例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	21例	梅毒	12例
	破傷風	2例	風しん	4例	麻しん	16例

■ 月報告対象疾患の発生動向 <3月>

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は25人（1.9）で、前月比63%と減少した。また、昨年3月（2.5）の約8割であった。

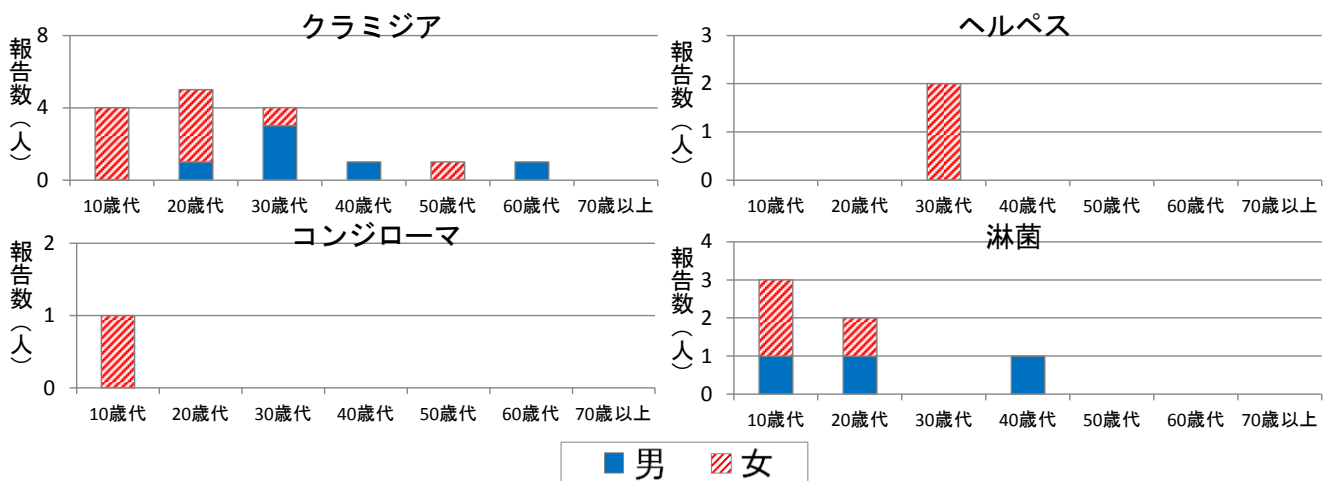
《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数16人（1.2）で、前月の約6割、前年の約1.1倍であった。20歳代が全体の約3割を占めた。（男性6人・女性10人）

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数2人（0.15）で、前月及び前年の約4割であった。（女性2人）

○尖圭コンジローマ：報告数1人（0.08）で、前月と同程度、前年の約半数であった。（女性1人）

○淋菌感染症：報告数6人（0.46）で、前月の約7割、前年の約半数であった。10歳代が全体の約半数を占めた。（男性3人・女性3人）



【全国】 定点医療機関総数：977

定点医療機関からの報告総数は3,830人（3.9）で、前月比102%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症1,935人（2.0）で前月比102%、性器ヘルペスウイルス感染症700人（0.72）で前月比106%、尖圭コンジローマ433人（0.44）で前月比102%、淋菌感染症762人（0.78）で前月比96%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は28人（4.0）で前月比108%と増加した。また昨年3月（4.3）の約9割であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数27人（3.9）で、前月と同程度、前年の約9割であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人（0.14）で、前年と同程度であった。（前月報告なし）

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

○薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：473

定点医療機関からの報告総数は1,665人（3.5）で、前月比97%と同程度であった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,473人（3.1）で前月比98%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症169人（0.36）で前月比90%、薬剤耐性緑膿菌感染症23人（0.04）で前月比125%、薬剤耐性アシネトバクター感染症の報告はなかった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第15週(04月07日～04月13日)

疾病名		第14週	第15週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	473	352	75	62	59	53	66	9	8	11	9
	定点あたり	8.02	5.97	4.69	6.20	8.43	10.60	13.20	1.50	4.00	1.83	4.50
RSウイルス 感染症	報告数	13	11	4	3	4						
	定点あたり	0.36	0.31	0.40	0.50	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	14	25	5	3	2	6		5	1	3	
	定点あたり	0.39	0.69	0.50	0.50	0.50	2.00	0.00	1.25	1.00	0.75	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	68	60	14	2	23	5		8	2	4	2
	定点あたり	1.89	1.67	1.40	0.33	5.75	1.67	0.00	2.00	2.00	1.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	400	587	124	123	71	46	86	52	33	38	14
	定点あたり	11.11	16.31	12.40	20.50	17.75	15.33	28.67	13.00	33.00	9.50	14.00
水痘	報告数	29	38	11	10	7	6	1	1	1	1	
	定点あたり	0.81	1.06	1.10	1.67	1.75	2.00	0.33	0.25	1.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	50	71	40	4	9	2	2	6		6	2
	定点あたり	1.39	1.97	4.00	0.67	2.25	0.67	0.67	1.50	0.00	1.50	2.00
伝染性紅斑	報告数	2	1	1								
	定点あたり	0.06	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	41	39	16	9	1	3	3	3		4	
	定点あたり	1.14	1.08	1.60	1.50	0.25	1.00	1.00	0.75	0.00	1.00	0.00
百日咳	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	4	5		1	3					1	
	定点あたり	0.11	0.14	0.00	0.17	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数		1	1								
	定点あたり	0.00	0.17	0.33	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	21	13	12	1							
	定点あたり	3.50	2.17	4.00	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数		6		1				5			
	定点あたり	0.00	0.86	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	5.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～15週)

2類感染症	結核	57例(4)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5例(1)				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	15例	重症熱性血小板減少症候群	4例(1)
	つつが虫病	5例	ポツリヌス症	1例	レジオネラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	2例(1)	急性脳炎	4例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	2例
	梅毒	5例(1)	破傷風	1例	麻しん	3例

()内は今週届出分、再掲